

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる

～県民が安心して快適に暮らし続けられる奈良をつくる～

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 6 「安全安心な地域」づくり (19) 大規模広域防災拠点の整備

ここまで良くなりました

近い将来、「南海トラフ地震」など大規模災害の発生が予想されています。本県だけでなく紀伊半島エリアを広くカバーする**防災拠点が無い**ため、「大規模広域防災拠点」の整備が必要です。

「**奈良県大規模広域防災拠点整備基本計画**」を策定しました。(R3年6月)

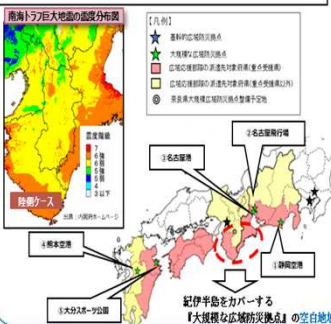
○有識者の知見や内閣府の指導をいただき、大規模広域防災拠点のあり方や導入すべき機能、施設規模など、県の基本的な考え方を取りまとめた整備基本計画を策定しました。

用地取得が確実に進展しています。

○地元説明会をR2年から22回[※]開催し、地権者と協議を重ね補償調査を実施しています。
※ R3.12.12時点

紀伊半島3県で協力しています。

○3県(奈良県・三重県・和歌山県)による国への合同要望を実施するとともに、災害時の共同運用に係る協定締結を合意しました。



もっと良くするために

大規模広域防災拠点(2,000m級滑走路付)の早期整備に向けた取組を進めます。

○大規模広域防災拠点の整備(4,728百万円)【債務負担行為1,449百万円】

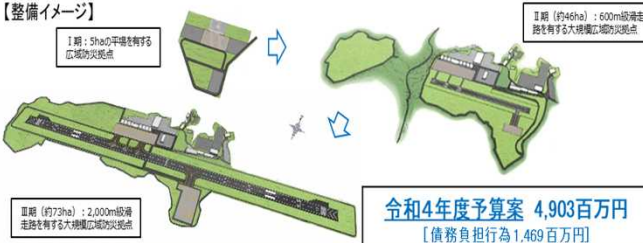
- ・用地調査及び交渉を進め、用地取得に着手
- ・現地測量、地質調査及び実施設計等に引き続き、順次、準備工事に着手
- ・大規模広域防災拠点の運用方針にかかる関係機関との具体的調整

○京奈和自動車道五條西ICから防災拠点を經由して国道168号に接続する道路について、事業化に向けた測量・調査・設計等のほか、都市計画手続きを実施(175百万円)【債務負担行為20百万円】

緊急防災・減災事業債の適用、長期にわたる継続的な支援を国に要望していきます。

本拠点は紀伊半島全体の後方支援拠点として総合かつ広域的な役割を担うため、「**大規模な広域防災拠点**」として、国の**南海トラフ地震に関する計画へ位置付ける**べく協議を進めています。

【整備イメージ】



R4 予算案 4,903,000千円 [債務負担行為 1,469,000千円]

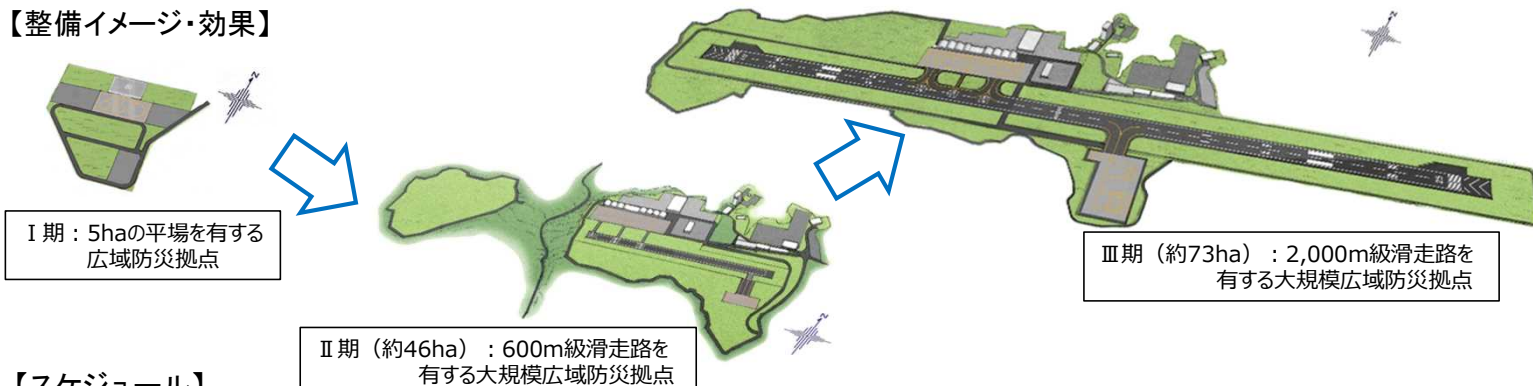
1. 大規模広域防災拠点の整備 (4,728,000千円、R5債務負担行為 1,449,000千円)

- ①用地調査及び交渉を進め、**用地取得に着手**
- ②現地測量、地質調査及び実施設計等に引き続き、順次、**準備工事に着手**
- ③大規模広域防災拠点の**運用方針**にかかる**関係機関との具体的調整**

2. 大規模広域防災拠点アクセス道路の整備 (175,000千円、R5債務負担行為 20,000千円)

- ④京奈和自動車道五條西ICから防災拠点を經由して国道168号に接続する道路について、事業化に向けた測量・調査・設計等のほか、**都市計画手続きを実施**

【整備イメージ・効果】



【スケジュール】

～R3	R4	R5～
整備基本計画策定		
実施設計・道路設計・各種調査(地形測量、地質調査、環境調査等)		
運用方針等作成		造成工事等
用地測量・補償調査等		
	用地買収	
	【アクセス道路】都市計画手続き・事業実施	

<問い合わせ先>

- ①② 県土マネジメント部 大規模広域防災拠点整備課 大内参事(内線4281)
- ③ 知事公室 防災統括室 俵元室長補佐(内線2246)
- ④ 県土マネジメント部 道路建設課 松田主幹(内線4141)

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 6 「安全安心な地域」づくり (20) 消防学校教育の充実、県内広域消防組織への支援

ここまで良くなりました

消防学校教育は県の責務です。その教育内容の充実が課題となってきています。

広域消防組合では、旧消防本部の11区分から新たな7区分へ再編するなど、迅速な意思決定が行えるよう組織運営体制を再構築し、会計も一本化されました。

全県的消防広域化の成果を現場で実現させる必要があります。

広域消防組合	奈良市消防局	生駒市消防局
消防署数 18消防署、 19分署・出張所	消防署数 5消防署 6分署	消防署数 1消防署 2分署
職員数 1,287名	職員数 383名	職員数 142名
保有車両台数 380台	保有車両台数 102台	保有車両台数 32台
構成市町村 37市町村	構成市町村 1市	構成市町村 1市
管轄人口 約86万人 (R2.4.1現在)	管轄人口 約38万人 (R2.4.1現在)	管轄人口 約12万人 (R2.4.1現在)



もっと良くするために

消防学校における教育訓練の体系づくりを進めるなど、**教育訓練を充実**します。

- 県内消防本部派遣教官の人員費負担(63百万円)
市町村からの派遣教官の人員費を負担し、教育訓練の実施に必要な消防学校の教官を確保
- 訓練使用資機材の整備(4百万円)
今後の教育訓練内容の充実に向けた対応を進め、「即戦力」としての人材育成
・資機材の更新 半自動式除細動器、空気呼吸器
- 消防学校の改修(37百万円)
消防士育成の唯一の機関であることから、訓練環境も含め計画的に整備
・消防学校補助訓練棟修繕工事等

広域消防組合のガバナンスの強化(業務・管理・財務)を支援します。



令和4年度予算案 104百万円

R4 予算案 104,093千円

1. 教育訓練環境の整備 (104,093千円)

- 高度で専門的な災害対応能力を備えた消防職員・団員を育成するための消防学校の環境整備
 - ・教育訓練用資機材の整備(3,795千円)
 - ・県内消防本部派遣教官の人員費負担(63,163千円)



訓練の様子

- 消防学校の訓練環境等を整備(37,135千円)

- ・補助訓練棟修繕工事
- ・本館トイレ・洗面所改修



補助訓練棟



消防学校本館

2. 奈良県広域消防組合のガバナンス強化

- 奈良県広域消防組合の業務運営や会計処理等のガバナンス強化を支援
 - ・広域消防組合の管理部門へ職員を派遣、組合の研修生を県で受入れ
 - ・広域消防組合企画調整会議に外部委員として参加

<問い合わせ先>
知事公室 消防救急課 杉野課長補佐(内線2273)

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 6 「安全安心な地域」づくり

(21) 大和川直轄遊水地と流域内水遊水地の整備

ここまで良くなりました

全国各地で洪水被害が頻繁に発生しています。
大和川では、遊水地整備や河川改修など「外水対策」と、奈良県平成緊急内水対策など「内水対策」による、流域治水に取り組んできました。

大和川とその支川が、令和3年12月に特定都市河川に指定され、奈良県平成緊急内水対策事業への国の補助率が引き上げられました(1/3⇒1/2)。

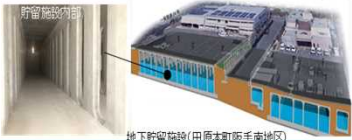
<大和川本川>
○国は、外水対策として直轄遊水地の整備(窪田地区、保田地区は工事着手)、大和川・佐保川の改修(藤井地区、長安寺地区)に取り組む

<大和川支川>
○H30年5月に、奈良県平成緊急内水対策に着手
○R3年3月末に、田原本町(阪手南地区)において、内水対策第1号が完成
○R3年度に、3箇所(大和高田市・天理市・斑鳩町)において新規事業化し、全15箇所を整備を推進

OR3年11月に、総合治水条例に基づき、上下流が一体となった総合治水の推進体制の強化を図るため、「総合治水の推進に関する包括協定」を4流域、8市町と初めて締結



包括協定締結式(R3年11月)



地下貯留施設(田原本町阪手南地区)

もっと良くするために

あらゆる関係者の協働による「流域治水」の取組を一層推進し、100年に1度の大雨などにも耐えられることを目標に、洪水対策を進めます。

<大和川本川>
○国は洪水を一時的に貯留する100万㎡の直轄遊水地の整備を加速するとともに、大和川・佐保川の改修を推進
(1,027百万円、R3・2月補正226百万円)



○R4年度事業中箇所 ○今後事業予定箇所

令和4年度予算案 2,973百万円

【債務負担行為1,266百万円】

令和3年度2月補正予算案 894百万円

<大和川支川>
○特定都市河川の指定による国からの財政支援拡充により、市町と県が連携した「奈良県平成緊急内水対策事業」を一層推進
・市町は、内水による床上・床下浸水被害解消に取り組む
・県は、市町が内水対策に要する費用の実質1/2を負担することで財政支援

(243百万円)

○河道掘削、堤防補強
(1,703百万円【債務負担行為1,266百万円】、R3・2月補正予算668百万円)

R4予算案 2,973,063千円 [債務負担行為1,266,000千円]、R3・2月補正予算案 893,800千円

1. 直轄遊水地等の整備 (1,026,705千円、R3・2月補正予算案 226,000千円)

○大和川流域における遊水地整備等
<R4実施箇所(予定)>

- ・大和川遊水地(窪田地区、保田地区、三代川地区)
- ・大和川・佐保川改修(藤井地区、長安寺地区)



直轄遊水地の整備

2. 奈良県平成緊急内水対策の一層の推進 (243,590千円)

- 大和川とその支川が令和3年12月に特定都市河川に指定され、国の補助率が1/3から1/2に引上げ
- 市町:内水による床上・床下浸水被害を解消するため、内水対策を実施
- 県:内水対策に要する市町の実質負担費用に対し、1/2を財政支援

<R4助成箇所(R3施工分(予定))>

- 大和高田市(栄町地区)、三郷町(勢野東地区)、
- 田原本町(阪手南地区、富本地区)、
- 王寺町(葛下3丁目地区)、
- 広陵町(中地区、三吉地区)、
- 河合町(長楽・川合地区)



田原本町雨水貯留施設



平成29年台風第21号の際の内水被害状況(広陵町大場地区付近)

3. 河道掘削、堤防補強等 (1,702,768千円、R5~6債務負担行為 1,266,000千円 R3・2月補正予算案 667,800千円)

- ・大和川、曾我川、葛下川、秋篠川、布留川北流 ほか



河道掘削状況(布留川北流)

<問い合わせ先>
県土マネジメント部 河川整備課 吉田主幹(内線4171)

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 6 「安全安心な地域」づくり (22) 土砂災害対策の推進

ここまで良くなってきました

「奈良県土砂災害対策施設整備計画」に基づき、**施設整備(砂防施設、地すべり対策施設、急傾斜地崩壊対策施設)**を着実に進めてきました。

「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」に基づいた**森林の防災機能を重視した施策**を始め、

・イエロー区域(10,967)・レッド区域(9,832)指定をR2年3月に完了

・R2年4月に「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」を施行



・条例に基づき、県内の森林を4つ(恒続林、適正人工林、自然林、天然林)に区分し、防災等の森林機能を高度に発揮するよう誘導

・R3年4月に「奈良県森林環境の維持向上及び県産材の利用促進に関する指針」を施行



・R3年度までに、レッド区域内に24時間利用の要配慮者施設がある全ての箇所について、施設整備に着手

・土砂災害・防災情報システムによる土砂災害危険度に関する情報の提供

もっと良くするために

着実なハード・ソフト対策による安全確保とともに、**気候変動やコンパクトなまちづくり等の新たな課題にも取り組みます。**

「奈良県土砂災害対策施設整備計画」に基づく**土砂災害対策**を着実に進めます。

森林整備やまちづくり等と連携した、新たな課題に取り組みます。

○レッド区域内の避難所の移転促進とあわせて、「代替性のない避難所」がある箇所の施設整備を推進(4,190百万円〔債務負担行為4,411百万円〕、R3・2月補正 799百万円)

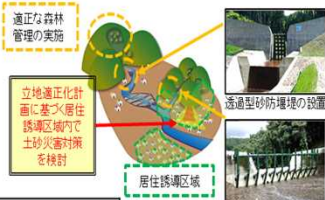
【林木への対策】
○針広混交林化による防災機能の高い森林へ誘導(257百万円)
○森林施業の推進(512百万円)
○流木対策砂防施設の整備

○2巡目基礎調査、避難行動に役立つ看板の設置等のソフト対策による防災・減災(404百万円)

【まちづくりへの対策】
○市町村が設定した立地適正化計画を踏まえた土砂災害対策の検討(10百万円)

○砂防指定地管理・監視の適正化・DX推進(45百万円)

○紀伊山系における大規模土砂災害対策(国直轄)(1,075百万円)



令和4年度予算案 6,493百万円〔債務負担行為4,411百万円〕
令和3年度2月補正予算案 799百万円

R4予算案 6,493,278千円 [債務負担行為 4,410,570千円]、R3・2月補正予算案 798,600千円

①砂防施設の整備

(4,189,324千円、R5~6債務負担行為 4,410,570千円、R3・2月補正予算案 798,600千円)

○**砂防設備**の設置により、土石流等による被害から人家、交通ネットワーク等を保全

＜R4箇所＞
鹿野園沢(奈良市)、脇本A沢(桜井市)ほか

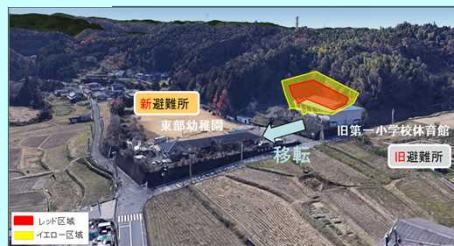
○**地すべり防止施設**の設置により、地すべりによる被害から人家等を保全

＜R4箇所＞
鹿野園地区(奈良市)、坪内地区(天川村)ほか

○**急傾斜地崩壊防止施設**の設置により、急傾斜地の崩壊による被害から人家等を保全

＜R4箇所＞
丹生地区(奈良市)、大又地区(東吉野村) ほか

○**レッド区域内避難所の代替施設確保、移転指導**
・近接代替施設へ**避難所を移転**(21施設)
レッド区域内の避難所(153→132施設)



避難所の移転(大淀町中増)

②直轄河川事業費負担金 (1,075,461千円)

○**紀伊山系における大規模土砂災害対策等**
＜R4箇所＞長殿、栗平、神納川ほか

③ソフト対策による防災・減災 (404,250千円)

○土砂災害防止法に基づく**2巡目基礎調査**を実施

○雨量や土砂災害警戒情報を迅速かつ安定して提供できるよう、**土砂災害・防災情報システムを改修**

○土砂災害警戒区域等において、**避難行動に役立つ看板を設置**
(R4年度:王寺町・御所市・平群町等)



避難行動に役立つ看板(イメージ)

④砂防指定地管理・監視の適正化・DX推進 (44,516千円)

○**砂防指定地や許可エリアの位置情報をデータ化**し、違反行為の早期発見・監視を効率化

○**新デジタル技術**を活用した土地改変行為の監視の推進

⑤林木への対策 (769,727千円)

○施業放置林を対象に**針広混交林化**による防災機能の高い森林への誘導

○施業放置林化を防ぐための**森林施業**の推進

○流木捕捉機能を追加した流木対策砂防施設の整備

⑥まちづくりへの対策 (10,000千円)

○市町村が設定した**立地適正化計画**に基づく居住誘導区域内での土砂災害対策の検討

＜問い合わせ先＞ ①②③⑤⑥ 県土マネジメント部 砂防・災害対策課 松山課長補佐(内線4192)
尾本課長補佐(内線4191)
④ 水循環・森林・景観環境部 森と人の共生推進課 西課長補佐(内線3942)
⑤ 森林資源生産課 福岡課長補佐(内線3971)

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 6 「安全安心な地域」づくり (23) 日本一災害に強い奈良県を目指す対策

ここまで良くなってきました

令和元年に「奈良県緊急防災大綱」を策定し、ハード及びソフト対策により防災・減災対策を行ってきました。

- 台風や集中豪雨等による浸水被害を軽減し、災害を防止するため、河川改修等を実施
- 土砂災害特別警戒区域(レッド区域)内の砂防施設整備を推進
- 全ての防災重点ため池でハザードマップ作成を進めており、R4年1月末時点で699箇所公表済み(R3年度末には全て公表予定)
- 直近の自然災害の課題や社会情勢の変化等を踏まえ、R2年3月に「奈良県地域防災計画」を修正

市町村等が行う避難対策に対する支援を行ってきました。

- 市町村の避難所運営マニュアル策定等への支援や「女性視点の防災ハンドブック」「新型コロナウイルス感染症に備えた避難所運営に係るガイドライン」を作成し、配付
- 33市町村で社会福祉協議会と災害ボランティアセンター設置にかかる協定を締結、災害ボランティアセンター運営マニュアルも策定
- 自主防災組織の実施する防災訓練の支援や自主防災活動に関するアドバイザーの派遣を実施

もっと良くするために

令和2年度に策定した「第2期奈良県国土強靱化地域計画」に基づき、国の関係予算も有効に活用し、防災・減災、国土強靱化の取組を進めます。

○「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」や「緊急防災・減災事業債」を活用した計画的・重点的な防災対策

いざという時の避難行動に万全を期します。

- 市町村と連携し、「自らの命は自らが守る」という意識の徹底、正しい避難行動についての周知啓発、避難訓練などの取組を継続的に実施
- (新)災害ボランティア活動の取組を強化(4百万円)

○自主防災組織の防災訓練の支援やアドバイザーの派遣を継続して実施(1百万円)

○市町村が行う避難行動要支援者の個別避難計画作成等の支援

○(新)災害時に避難所へ迅速に物資の配布を行うため、備蓄物資を県内各地へ分散化(2百万円)

他地域での避難活動支援も積極的にを行います。

○自然災害が発生した際、情報収集や避難所運営業務等を支援するため、被災地へ職員派遣

令和4年度予算案 48,112百万円

令和3年度2月補正予算案 9,671百万円

消防防災ヘリコプターを更新します。
(債務負担行為2,481百万円)

R4予算案 48,111,927千円 [債務負担行為 19,469,360千円]、R3・2月補正予算案 9,671,047千円

1. 計画的・重点的な防災対策 (48,104,776千円)

- ① 南海トラフ巨大地震等に備え、2,000m級滑走路を備えた**大規模広域防災拠点**の整備を推進(4,903,000千円、R5債務負担行為 1,469,000千円)
- ② 安全・安心を支える道路のネットワーク整備、**道路施設の老朽化対策**の推進(33,502,589千円、R5~7債務負担行為 12,474,360千円 R3・2月補正予算案 6,184,505千円)
- ③ 流域治水として、河道掘削、**奈良県平成緊急内水対策**等の推進(9,148,716千円、R5~6債務負担行為 2,923,000千円、R3・2月補正予算案 2,902,839千円)
- ④ 防災上対策が必要なため池等について、機能診断調査や**老朽ため池等の改修整備**を推進(528,533千円、R5債務負担行為 122,000千円、R3・2月補正予算案 553,269千円)
- ⑤ 「奈良県文化財防火対策推進条例」等に基づく総合的な**文化財の防災・防火対策**(21,938千円、R3・2月補正予算案 30,434千円)



道路施設の老朽化対策



ため池の改修

2. 消防防災ヘリコプターの整備 (R5~6債務負担行為 2,481,000千円)

- ⑥ 消防活動・救急活動を支援する**消防防災ヘリコプターの更新**



消防防災ヘリ「やまと2000」

3. 避難活動の円滑化 (7,151千円)

- ⑦ (新)災害ボランティアセンター設置・運営訓練 等
- ⑧ (新)災害用物資の分散備蓄
- ⑨ 自主防災組織の防災訓練の支援 等



<問い合わせ先>

県土マネジメント部 ①大規模広域防災拠点整備課 大内参事(内線4281)、

②道路建設課 高木課長補長(内線4136)、道路保全課 辻井主幹(内線4152)、③河川整備課 吉田主幹(内線4171)

食と農の振興部 ④農村振興課 藤田課長補佐(内線3911)

文化・教育・くらし創造部 ⑤文化財保存課 守屋課長補佐(内線5332)、⑦青少年・社会活動推進課 永岡主幹(内線3313)

知事公室 ⑥消防救急課 杉野課長補佐(内線2273)、⑧防災統括室 小原室長補佐(内線2285)、

⑨安全・安心まちづくり推進課 徳丸課長補佐(内線2128)

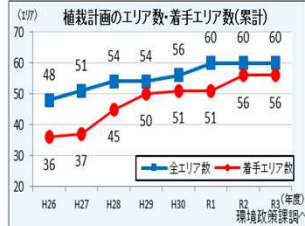
Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 7 「きれいな奈良県」づくり (24) なら四季彩の庭づくりの推進

ここまで良くなりました

奈良県植栽計画(H25策定)による取組を、「なら四季彩の庭」づくりの理念に沿って推進してきた結果、登録エリア数・着手エリア数ともに増加しました。

「なら四季彩の庭」作庭方針

- ・県全体で調和のとれた「一つの庭」づくり
- ・地域の景観資産を生かした庭づくり
- ・四季折々の彩りの庭づくり
- ・人が楽しむ庭づくり
- ・連携・協働による持続的な庭づくり



登録、着手エリアが増加してきた結果、美しい植栽景観を楽しめる箇所も増えています。



もっと良くするために

奈良県を「一つの庭」と見立てた、四季折々の彩りを愉しむ庭づくりを進めるために

場所類型に沿った庭づくりを検討し、「なら四季彩の庭」づくりを推進します。
(1百万円)

- 条例化の検討(有識者への意見聴取・課題整理等)
- 場所類型別エリア事業の計画策定、実施体制の構築・運営(事業計画の検討・協働モデルの創出)

場所類型別の推進方策

場所類型	主な推進方策
森林・山岳	眺望景観の確保、視点場・散策道整備、環境保全
里山・田園	耕作放棄地・竹林等の適正管理、散策景観確保
歴史文化遺産	場の履歴を反映する四季の彩り、視点場の整備
水辺	親水空間の創出、水辺の彩り、環境保全
まち	街路樹・花壇・サイン等の整備、駅周辺等の彩り
人が集う場所	四季の彩り(花の群植)、アメニティー施設の整備

「なら四季彩の庭」づくりを全県的な運動として普及・啓発します。(32百万円)

- シンボルマークを使用したプレート設置、ジャーナル発刊、公式Instagramの運営等
- まちの彩りづくりの主体として県民等への意識醸成
- (新)「なら四季彩の庭」づくりパートナー制度創設
- 協定締結団体や地元活動団体の拡充と実践活動支援
- 市町村・地元活動団体等へ「なら四季彩の庭」づくりアドバイザーを派遣

引き続き、エリア責任課長(庭師)による庭づくりを推進します。(1,279百万円、R3・2月補正12百万円)

令和4年度予算案 1,312百万円
令和3年度2月補正予算案 12百万円

R4予算案 1,311,532千円、R3・2月補正予算案 11,500千円

(1) 「なら四季彩の庭」づくり条例の検討 (1,181千円)

- 条例化の検討(有識者への意見聴取・課題整理等)

(2) 場所類型別エリア事業の計画策定・実施

- 場所類型別エリア事業の計画策定、実施体制の構築・運営(事業計画の検討・協働モデルの創出)

(3) 普及啓発・意識醸成(8,457千円)

- シンボルマークを使用したプレート設置、ジャーナル発刊、公式Instagramの運営等
- (新)「なら四季彩の庭」づくりパートナー制度創設
- 協定締結団体や地元活動団体の拡充と実践活動支援

(4) エリア責任課長(庭師)による事業推進 (1,278,384千円、R3・2月補正11,500千円)

(5) 市町村・地元活動団体等への支援(23,510千円)



佛隆寺(室生エリア)

エリア責任課長(庭師)による事業推進

- (河川) 四季折々の奈良を感じられる河川空間を形成する親水施設等を整備
- (道路) 大宮通りにおける植栽整備
主要道路沿道等での植栽整備
景観眺望を阻害している樹木の剪定・伐採
- (公園) チューリップ等によるパノラマ景観の創出
花と親しむイベントの開催(馬見丘陵公園)
- (施設) 野外活動センターにおける植栽整備
歴史的風土の保存

市町村・地元活動団体等への支援

- (技術的支援)
 - 市町村・地元活動団体等へ「なら四季彩の庭」づくりアドバイザーを派遣
- (市町村への支援)
 - 市町村が行う植栽整備を支援
- (地元活動団体等への支援)
 - 河川及び道路において地元活動団体等が行う植栽・除草・清掃活動を支援

<問い合わせ先>

水循環・森林・景観環境部
環境政策課 向井課長補佐(内線3372)

Ⅲ 楽しむ「都」をつくる 7 「きれいな奈良県」づくり (25) 馬見丘陵公園を誇らしい花の公園に整備

ここまで良くなってきました

馬見丘陵公園では、季節ごとの花のイベントを実施し、**質の高い花の公園**を目指して整備に力を注いできました。(令和2年度来園者数は過去最多の約111.5万人)



季節ごとに花をテーマにしたイベントを開催しています。

チューリップフェア (4月)	花菖蒲まつり (6月)	ひまわりウィーク (7~8月)	フラワーフェスタ (10月)	クリスマスウィーク (12月)
----------------	-------------	-----------------	----------------	-----------------



北エリアの花見茶屋を、夏は涼しく冬は暖かい木のぬもりを感じる休憩所に改装しています。

緑道エリアへの花壇新設、健康遊具の設置により、花々を楽しみながら健康づくりができるウォーキングルートを整備しています。



もっと良くするために

花の公園としてさらなる魅力の向上を図ります。

- 草花等の植栽の充実(74百万円)
 - ・チューリップ等によるパノラマ景観の創出 (チューリップの株数の充実…R3:60万株→R4:65万株)
 - ・企業協働花壇の導入検討、花サポーターの育成等



快適に楽しく過ごせる空間づくりを進めます。

- 池部駅から北エリアまでの区間に「花街道」を創出(季節の花々を楽しみながら散歩できる環境の整備)(62百万円)
 - ・(新)距離標の設置に向けた設計等
- 電動カートによる園内移動支援(13百万円)
 - ・土日祝(イベント期間及びGWは平日含む)に運行
- 園路広場の整備(63百万円)
- 魅力向上施設の整備(19百万円)
 - ・公園館への休憩スペースの整備等の検討



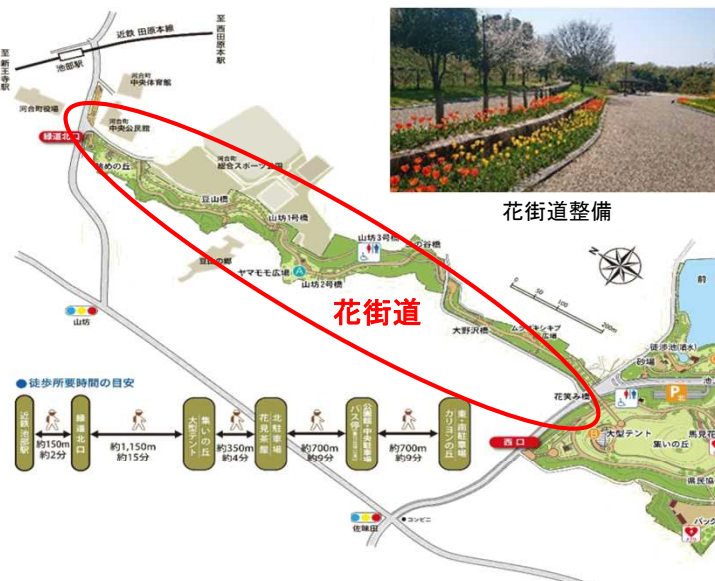
年間を通した賑わいづくりを進めます。

- やまと花ごよみイベントの開催(30百万円) [債務負担行為9百万円]



令和4年度予算案 261百万円 [債務負担行為9百万円]

R4予算案 261,368千円 [債務負担行為 9,400千円]



(1) 電動カートによる園内の移動支援 (12,901千円)

運行期間 土日祝(イベント期間及びGWの平日)

(2) 池部駅から北エリアまでの区間に季節の花々を楽しみながら散歩できる「花街道」を創出 (62,430千円)

←……電動カート運行ルート



(3) 園路広場の整備 (63,000千円)

ススキの丘、ハナモモの丘

(4) 魅力向上施設の整備 (19,000千円)

- ①休憩所、花壇施設の計画検討
- ②広陵町とのまちづくり連携に基づく施設の計画検討

(5) やまと花ごよみイベントの開催 (29,813千円、R5債務負担行為 9,400千円)

- ①チューリップフェア(4月)、花菖蒲まつり(6月)、ひまわりウィーク(7・8月)、フラワーフェスタ(10月)、クリスマスウィーク(12月)
- ②イベント期間中の路線バス増便

(6) 公園の魅力向上のための植栽等 (74,224千円)

- ①チューリップの株数の充実 R3 60万株 → R4 65万株
- ②県民協働花壇の設置、公園ボランティア育成、ボランティアハウスの管理運営

<問い合わせ先>

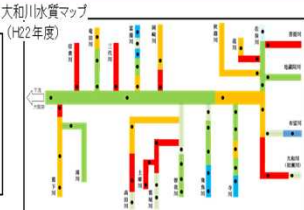
地域デザイン推進局 公園緑地課 常盤課長補佐(内線4307)

Ⅲ 楽しむ「都」をつくる 7 「きれいな奈良県」づくり (26) きれいな川づくり

ここまで良くなりました

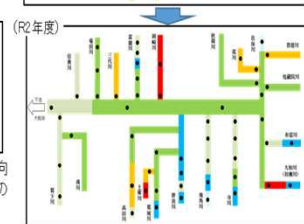
きれいな川辺づくり、遊歩環境の改善
 大和川水質マップ (H22年度)

川は開放的な空間であるとともに、豊かな景観を構成する要素であることから、**景観の維持・向上**とともに、**水辺に親しめる親水空間の整備**が求められています。



大和川とその支川のきれい化
 (R2年度)

市町村と連携し、**地域住民等の主体的な参加・協力**を得ながら、**大和川の水質改善、きれいな水辺空間づくりを進めました。**



大和川の水質は、下水道の整備等により改善傾向 (BOD値[※] H22: 4.7mg/L → R2: 2.4mg/L)にあるもの、他府県の河川に比べて低位にあります。

もっと良くするために

きれいな川辺づくり・遊歩環境の改善のため、水辺に親しめる親水空間の整備や適切な維持管理をさらに進めます。

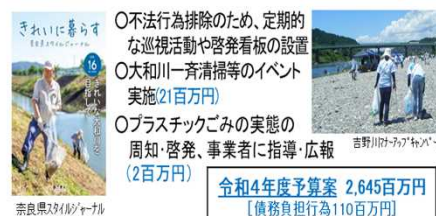
- 観光施設等を周遊するための水辺の遊歩道整備
- 奈良県植栽計画に基づく、親水施設や花壇等の整備 (58百万円)
- 河川利用者の視点に寄り添った適切な維持管理(護岸等修繕、除草、堆積土砂撤去) (2,496百万円) 【債務負担行為110百万円】
- 除草及び堆積土砂撤去状況

大和川の水のきれい化のため、水質向上に取り組み、家庭・事業者への啓発を推進します。

- 地域団体等と連携・協働した大和川水質改善のための普及啓発・実践活動の促進(チラシ配布、PR看板設置、油拭き取り材利用)
- 導水水量確保により河川環境を改善 (10百万円) (41百万円)
- 接続率向上のため、下水道接続促進員による戸別訪問を実施する市町村に支援
- 合併処理浄化槽設置補助を実施する市町村に助成

川のゴミを削減し、きれい化するため、地域の人々と協働した情報発信や活動、河川美化のための施策をさらに推進します。

- 「きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナル」の発行(年4回)
- 実践活動団体のネットワーク化を促進 (5百万円)
- 地域の河川サポートのため、地元自治会等が行う花の植栽活動、除草、清掃等の活動を支援 (12百万円)
- 不法行為排除のため、定期的な巡視活動や啓発看板の設置
- 大和川一斉清掃等のイベント実施 (21百万円)
- プラスチックごみの実態の周知・啓発、事業者への指導・広報 (2百万円)



令和4年度予算案 2,645百万円
 【債務負担行為110百万円】

R4予算案 2,645,125千円 [債務負担行為 110,000千円]

きれいな川辺づくり・遊歩環境の改善、適切な維持管理 (2,553,772千円、R5債務負担行為 110,000千円)

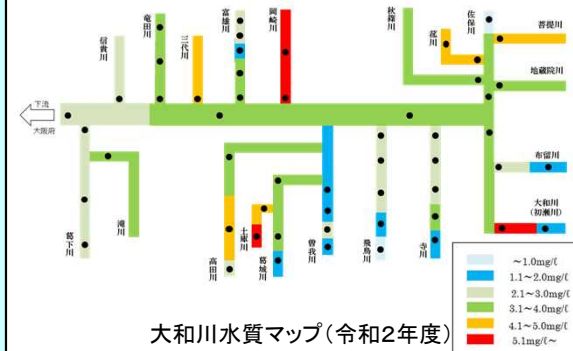
- ① **水辺の遊歩道**の整備
大和川、竜田川、岩井川
- ② 奈良県植栽計画に基づく**奈良の河川彩りづくりの推進**
富雄川、佐味田川
- ③ **河川利用者の視点に寄り添った適切な維持管理**(護岸等修繕、除草、堆積土砂撤去、河川空間のアセットマネジメント(除草))



河川彩りづくりの推進(富雄川・生駒市)

大和川の水のきれい化 (50,897千円)

- ④ 大和川の水質改善
・地域団体等と連携・協働した普及啓発・実践活動の促進 (チラシ配布、PR看板設置、油拭き取り材利用)
・導水水量確保による河川環境の改善
- ⑤ **下水道接続促進員による戸別訪問**を実施する市町村への支援
- ⑥ **合併処理浄化槽設置者に対する補助事業**を実施する市町村への支援



大和川水質マップ(令和2年度)

川のゴミ削減、きれい化 (40,456千円)

- ⑦ **きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナル**の発行 (年4回)
実践活動団体のネットワーク化の促進
- ⑧ 県管理河川において、地元自治会等が行う**花の植栽活動や除草、清掃等の活動を支援**
- ⑨ 河川敷地の**不法占用、不法投棄等の排除・撤去**を行い、原状回復を図るとともに、**未然防止及び再発防止**のための諸対策を実施
- ⑩ **プラスチックごみの実態の周知・啓発、事業者への指導・広報**



<問い合わせ先>

県土マネジメント部 ①②③④⑨河川整備課 甲賀課長補佐(内線4173)、⑤下水道課 秋山課長補佐(内線4332)
 水環境・森林・景観環境部 ⑥⑧水資源政策課 中川課長補佐(内線2543)、
 ⑦環境政策課 向井課長補佐(内線3372)、⑩廃棄物対策課 田原課長補佐(内線3381)

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 7 「きれいな奈良県」づくり

(27) 道路の無電柱化

ここまで良くなりました

「奈良県無電柱化推進計画(R1.10策定)」に基づき、無電柱化を進めています。

- <無電柱化重点対象道路>
- 防災 … 緊急輸送道路、避難路
 - 県と市町村とのまちづくり… 県と市町村がまちづくりを進める上で、必要性について合意した地域
 - 景観形成・観光振興 … 世界遺産や歴史的・文化的風土形成地域

これまでに、約19kmの電線共同溝事業に着手しました。
そのうち、約3.4kmで工事実施、約2.9kmで工事完了しました。

【整備事例】 橿原神宮東口停車場飛鳥線(明日香村)



もっと良くなるために

引き続き、無電柱化を強力に進めます。

- 防災
 - ・緊急輸送道路や避難所へのアクセス道、避難路等災害の被害の拡大の防止を図るために必要な道路の無電柱化を推進
- 県と市町村とのまちづくり
 - ・各地区におけるまちづくりを進める上で、必要な取組として無電柱化を推進

- 国道168号(王寺町・香芝市)
国道308号(奈良市・四条大路付近)
(都) 西九条佐保線(奈良市)
(都) 大安寺柏木線(奈良市)
(都) 奈良橿原線(奈良市・JR奈良駅前)



令和4年度予算案 486百万円 [債務負担行為245百万円]
令和3年度2月補正予算案 100百万円

R4予算案 485,515千円 [債務負担行為 245,000千円]、R3・2月補正予算案 99,750千円

○ 奈良県無電柱化推進計画(令和元年10月から5箇年)に基づき、無電柱化を推進

(1) 奈良橿原線

(74,650千円、R5債務負担行為 85,000千円、R3・2月補正予算案 15,750千円)

- ・JR奈良駅前(奈良市)において、無電柱化及び歩道整備による防災機能及び安全性の向上
舗装工事、排水溝工事



【奈良橿原線】工事状況

(2) 三輪山線

(330,740千円、R5債務負担行為 140,000千円、R3・2月補正予算案 84,000千円)

- ・大神神社参道周辺地区(桜井市)の無電柱化及び参道にふさわしい景観の形成及び安全性の向上
用地買収、電線共同溝工事



【三輪山線】工事状況

(3) 畝傍駅前通り線

(53,350千円、R5債務負担行為 20,000千円)

- ・JR畝傍駅付近(橿原市)において、無電柱化及び歩道整備による防災機能及び安全性の向上
用地買収、歩道工事



【畝傍駅前通り線】工事状況

(4) 国道308号(奈良市) (26,775千円)

- ・四条大路付近(奈良市)において、無電柱化及び防災機能や安全性の向上
調査、設計

※その他、道路改築と併せて以下の箇所において無電柱化を推進

国道168号(王寺町)、国道168号(香芝市)、西九条佐保線(奈良市)、大安寺柏木線(奈良市)、城廻り線(大和郡山市)

<問い合わせ先>

県土マネジメント部 道路建設課 大西主幹(内線4146)、楠本主幹(内線4131)、松田主幹(内線4141)